学校番号	410

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	２０２１新政治・経済資料　三訂版(実教出版編修部)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実際の政治がどのように行われているか、教科書･資料集・新聞等を使いながら学習する。
・複数の資料を使用しながら、同じ事柄でも違う内容に読み取れてしまうことを学習する。
・経済について、モノの価値がどのように決まっていくか、身近な商品を活用しながら学習する。
・卒業後の生活について、収入の範囲内でどのように生活していくか、考える。

２　学習の到達目標

・日本の政治及び国際政治の動向について関心を高める。
・世論の形成がマスメディアによって大きな影響を受けていることを資料等を活用して考察する。
・市場の機能や国民所得などの考え方を生かし、経済的資質を養う。
・与えられた条件の範囲内で生活できるような「生きる力」を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	･現代の政治，経済，国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家･社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	･現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的･多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	･現代の政治，経済，国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	･現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート ノート提出	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	主題学習 ノート･ワークシートの下部に自由記述部分を設定	主題学習 レポート 発表を活用	主題学習 資料集･新聞等を使用し、必要な情報を選択する	主題学習 内容のまとまり 語句説明

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	民主政治の基本原理	・政治と法・民主政治の原理 ・世界の政治体制・民主政治の混迷と課題	○	○	○	○	a: 民主主義の歴史や基本的原理に関して、現代政治との関連性を追究している。主要国の政治制度に関して、日本と比較しながら関心を抱いている。 b: 西洋で発達した民主主義の原理と、日本の政治制度の仕組みとの関連を考察している。民主主義の価値を判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:民主主義の原理について、原典資料にもどりその内容を確認するなど、効果的に活用している。 d:政治や法、民主主義や人権保障の歴史といった民主政治の基本原理についての知識を有している。社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関して的確な理解を示している。	定期考査 ノート提出
	政治的教養を育む教育	・日本・大阪府が抱える政治的課題について	○	○	○	○	a:実際に住んでいる大阪で発生している問題について、どのようにすればよいか、解決策を積極的に話し合っている。 b:いくつかある条件の中で、相対する意見をどのように双方取り入れていくか、具体例を考え、わかりやすくレポートを作成したり、発表できている。 c:新聞やインターネット等で必要な情報を適切に選択し、効果的に活用できている。 d:日本・大阪府が抱える政治的課題について、なぜ問題が起こっているのか、理解している。	グループワーク・レポート提出・発表

	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ 	a:憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義といった基本原則に対して興味や関心を抱いている。人権問題や平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、課題に対して追究する態度を示している。 b:大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し、民主主義の実現の必要性について考察を加えている。憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断し、適切に表現している。 c:日本国憲法の成立や人権保障、平和主義に関する情報を、様々な手段を使い収集している。自ら設定した課題解決のために選択し、活用している。 d:日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて理解している。憲法の基本原則について総括的な知識を有している。平和主義や人権に関する憲法条規に関する知識を前提に、課題に対する理解を示している。	定期考査 ノート提出
	日本の政治機構	・立法 ・行政 ・司法 ・地方自治	 ○	○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:日本の政治機構に対し、その仕組みや制度に関心をもち、課題を追究する態度が見られる。 b:憲法条規上の政治機構の規定と、三権の状況や中央と地方との関連などを比較し考察している。また、その過程や結果を適切に表現している。 c:政治機構に関する情報をマスメディアを通じて収集し、主体的に活用している。 d:政治機構について、憲法条規に照らし、その仕組みや権限、相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。	定期考査 ノート提出

	現代日本の政治	・戦後政治の歩み ・選挙制度と政党 ・政治参加と世論	○ ○	 ○	 ○ 	○ ○ 	a：現代日本の政治動向に対する関心が高まっている。政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方や国民の参政の在り方を客観的に考えようとしている。 b：現代日本の政治動向から、課題を見いだしている。政党政治や選挙制度など現実の政治課題に関して、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している c：政党政治や選挙制度、官僚制度などに関する情報を様々なメディアを用いて収集し、かつ学習に必要な情報を主体的に選択し活用している。 d：政党政治や選挙制度、官僚制度などに関して、客観的な知識を持っている。世論と政治の関係を正しく理解し、望ましい参政の在り方を考察している。	定期考査 ノート提出

2学期	現代の国際政治	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 国際政治の動向に対して、関心が高まっている。安全保障の考え方や、国際紛争の諸要因を意欲的に探究している。 b: 国内政治と国際政治の違いを、多面的に考察している。国際社会における国際連合の在り方について、様々な考え方を踏まえ判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代の国際社会における政治の諸資料を収集している。日本のかかわりに関する諸資料を収集し、活用している。 d:国際間の相互依存、紛争の平和的解決のための国際機構や国際法が発達したことを理解し、仕組み・制度の知識を身につけている。今後解決すべき国際社会の諸課題について、的確な理解を示している。	定期考査 ノート提出
	経済社会の変容	・資本主義経済の発展 ・グローバル化と現代資本主義経済	 ○	○ 	○ 	 ○	a:資本主義経済の特徴や歴史について追究している。 b:現代経済の特徴について、経済活動の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察し、様々な方法で適切に表現している。 c:現代経済の特徴に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集し、活用している。 d:経済学説を、経済社会の変容にあわせて的確に理解している。資本主義経済の一般的特徴について、十分な知識を持っている。	定期考査 ノート提出

	現代経済のしくみ	・市場機構 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ・財政のしくみ	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:日本経済に対する関心が高まっている。経済の諸理論に対して関心を深め、経済活動を探究する態度が見られる。 b:現代の日本経済の動向から、課題を見いだしている。経済主体間の経済循環を、経済活動と対応させながら考察している。現実の金融・財政問題やその解決方法について判断し、過程や結果を適切に表現している。 c: 日本経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアから収集している。市場機構や金融・財政などの役立つ情報を主体的に選択し、活用している。 d:経済主体相互の関連が、国民経済を構成していることを理解している。市場経済のもつ特性を理解するとともに、その限界についても考察を加えている。基本的な知識をもとに、金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解を示している。	定期考査 ノート提出

	現代経済と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 第１章、第２章で学んだ経済理論をもとに、日本経済の特徴と課題に関心を示している。戦後日本経済が歩んだ流れを追究する意欲が見られる。 b:日本経済史との関連の中で日本経済の課題を考察している。経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を的確に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後日本経済史に関する史料を、幅広く収集している。労働問題、社会保障など様々な課題に関するデータを収集し、課題解決のために活用している。 d:中小企業や農業問題など、日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有している。	定期考査 ノート提出

	世界経済と日本	・商品・資本の流れと国際収支 ・国債経済体制の変化 ・金融のグローバル化と世界金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:国際経済の動向に対する関心が高まっている。国際経済の特質を意欲的に追究している。 b:国際経済の動向から、課題を見出している。グローバル化に対し、商品や労働力、資金の移動などから考察するとともに、グローバル化の弊害についても的確な判断を示しており、過程や結果を適切に表現している。 c:国際経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。グローバル化の進展など国際経済の特質、国際経済の安定・成長のために果たすべき日本の役割についての情報を選択し活用している。 d:自由貿易と保護貿易の考え方など、国際経済に関する基本的知識を習得している。戦後国際経済の流れを理解し、国際通貨基金や世界貿易機関などの仕組みに関する知識を有している。国際経済の動向の中で、地域的経済統合や南北問題の新たな局面を理解している。	定期考査 ノート提出

3学期	現代社会の諸課題	・東日本大震災と地域復興 ・自立する中小企業 ・農業の自由化・企業化論と農業・農村保護・食糧安保論 ・若者の多様な働き方か、安定した雇用か ・一律の所得保障か、勤労の義務付けか ・地球温暖化対策と低炭素経済への移行 ・転換が求められる日本のエネルギー対策 ・パレスチナ問題 ・貧困削減の取り組み ・「国益」から「人類益」へ	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:日本や国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を追究し、望ましい解決の在り方を考えようとしている。 b:現代日本や国際社会の諸課題を、解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代日本や国際社会の諸課題に関する諸資料をメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を選択し活用している。 d:現代日本や国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ノート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。